



同窓会報

NO.16
令和元年
8月1日発行

岩手県立一関第二高等学校同窓会

(旧一関高女・旧市立女子高・旧一関二高・旧一関農高)

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1 一関二高同窓会事務局 印刷所 コンカツ印刷(有)
TEL. 0191-25-2242 FAX. 0191-25-5432 (職員室) URL. <http://sekinidosokai.com/>



活躍する同窓生のコーナーは、作詞家として第51回日本作詞大賞を受賞した、本校同窓生の万城たかし氏(本名菅原隆行さん)をご紹介します。



まき
万城たかし

プロフィール

日本作詞家協会会員 監事
日本著作権協会正会員
筆 名 作詞・万城たかし
作曲・菅原右京
本 名 菅原隆行
出身地 岩手県一関市
現住所 埼玉県川口市
趣 味 磯釣り
血液型 O型
誕生日 2月15日

□事務所 〒332-0034 埼玉県川口市並木3-13-3
(有)ウィング105 TEL 048-258-6333
E-mail: wink105jp@yahoo.co.jp

【芸歴】

昭和44年 歌手を志し上京。作・編曲家 只野通泰氏に師事
昭和52年 歌手を断念。作詞家 荒川利夫氏に師事
昭和56年 「ふるさと頼り」(唄・春日八郎)で、作詞デビュー
昭和58年 「万城カラオケ教室」開講
昭和63年 新人歌手育成のため「万城ミュージック・プロモーション」設立
平成2年 規模拡張のため「(有)ウィング105」を設立

【受賞歴】

平成元年5月18日 「冬しぐれ」 ヒット奨励賞 唄:水貴かおり
平成8年3月28日 「雪国恋人形」 ゴールド賞 唄:野中さおり
平成15年5月20日 「北国そだち」 ヒット賞 唄:若原りょう
平成18年2月14日 「銭五の海」 ヒット賞 唄:鳥羽一郎
平成30年12月8日 「天竜流し」 第51回日本作詞大賞受賞
唄:福田こうへい

【主な作品】

福田こうへい 「天竜ながし」
鳥 羽 一 郎 「銭五の海」「浪漫ちっく東京」「石ころの唄」
一 条 貴 太 「ふたりの始発駅」「やんちゃ船」
角 川 博 「片瀬舟」
千 昌 夫 「屋台」 他多数



岩手県立一関農業高等学校、昭和44年3月卒の第一期卒業生です。入学は一関二高、二年生の終わりに農業科・生活科が独立し、二年間だけ過ごした二高の学び舎ですが、同窓生と呼ばれて嬉しいです。

今更ながら、農業の素晴らしさを痛感しているものの、当時は農業が大嫌いでした。何しろ、小学生の頃から歌手になることが夢で、ある時、クラスの授業で将来の夢を生徒の前で発表することになり「歌手…」と発表すると馬鹿笑いされ、二度と人前では夢を明かしませんでした。

それでも歌手になる夢を追い上京。川口市の消防署に勤務しながら歌手の道を模索するも27歳で断念しました。仕事の傍ら、憧れの芸能界を諦めきれず作詞家を目指し37年。何かの間違いだったのか、神のいたずらか、福田こうへいさん歌唱の「天竜流し」で「第51回日本作詞大賞」を受賞させていただきました。人生の中で、これほど興奮したことはありませんでした。

これからも人々の心を温める、そして歌謡史に残る作品づくりの職人として精進していく所存です。

万城たかし

同窓会役員

(H30.31)

支部役員一覧

役職名	氏 名	卒 業
会 長	槻 山 隆	農高S45卒
副 会 長	須 藤 光 子	二高S47卒
	小野寺 邦 芳	二高S53卒
	伊 藤 晋	二高S54卒
	石 川 聖 浩	農高S60卒
監 事	佐 藤 繁	二高S41卒
	木 村 孝 男	農高S44卒
	佐 藤 裕 一	二高S53卒

役職名	氏 名	卒 業
仙 台 支 部 長	伊 藤 善 雄	二高S42卒
仙台支部事務局長	猪 股 恭 四	二高S48卒
盛 岡 支 部 長	佐々木 克 彦	二高S40卒
盛岡支部事務局長	阿 部 俊 雄	二高S42卒
関 東 支 部 長	吉 廣 克 之	二高S34卒
関東支部事務局長	曾 部 篤 治	二高S44卒
千 厩 支 部 長	熊 谷 清 子	高女S20卒
千厩支部事務局長	永 沢 孝 子	高女S24卒



ご挨拶

同窓会長 槻山 隆

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げますとともに、常日頃より同窓会活動に、ご理解とご協力を頂き同窓会の活動ができますことに感謝申し上げます。また、9月発行予定になっております同窓会名簿の作成に際し、住所確認作業等に会員の皆様のご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。今後も5年ごとの名簿更新を行い住所不明者等が少ない名簿を目指してまいりますので皆様のご協力をお願い致します。

今年の総会は、6月22日に昭和57年卒、平成4年卒の当番幹事のもと開催し、会員の皆様に多数参加を頂きました。今年も昨年に引き続き、本校舎4階の大講義室で総会を開催し、総会前のアトラクションとして、太鼓道場部と音楽部の演奏を聴き、卒業後初めて参加した同窓生にとっては、感動していただいたものと思っています。例

年のことではありますが、当番幹事の皆様には、参加者の確保から総会終了後の懇親会の司会進行までご協力を頂き、盛大に終了できたことを感謝申し上げます。

本校の入学生も、昨年度から1学級減の200名となり、同窓会運営について今までよりも経費節減を考えた活動が必要となってくるものと考え、皆様の今まで以上の同窓会活動に対するご支援ご協力をいただきますようお願い致します。

現在、一関市に於いては、少子高齢化が大きな課題となっており、若年層の流出により今後の学校運営が大変な状況となるものと危惧している状況であります。こういう中での同窓会活動が益々制約されるものと思いますが、会員皆様のご支援ご協力の下、活動してまいりますのでよろしくおねがいいたします。



ご挨拶

校長 中崎 ゆかり

同窓会会員の皆様には、本校教育活動に対しまして日頃より多大なるご協力ご支援を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

令和となった今年度、本校は112年目を迎えました。生徒たちは二高生としての自覚と誇りをもって、学習に部活動に大変張り切っております。昨年度の活躍もめざましいものでしたが、それにも増して、今年度も様々な分野で大きな成果をあげております。フェンシング部の男女団体揃っての鹿児島インターハイ出場、陸上競技部、卓球部、水泳部の東北大会への複数名の出場、自然科学部の全国高等学校総合文化祭佐賀大会への出場など、この4ヶ月間の部活動面で、既に昨年度を上回る大活躍となっております。学習面では、日商簿記検定2年生6月の3級合格者数の新記録達成、県の高校生海外派遣事業(北米コース)への選考決定など、将来を見据えた取り組みや視野を広げる取り組みなど、極めて意欲的に学んでおります。

2、3年生は英語の資格試験であるGTECを6月から受験開始し、来年度から始まる大学入学共通テストに備える取り組みも進んでおります。様々な教育改革が矢継ぎ早に押し寄せてきており、私たちも多岐にわたる対応に迫られております。生徒たちも保護者も、今後数年間は様々な

制度等の変化に対応していかざるを得ないことになるものと思います。

また、令和2年度に本校は学級減の完成年度を迎え、各学年とも定員200名となります。教員は3年間で9名減となり、今後の学校経営に関して、ますます同窓会の皆様方のお力添えをいただかなければならない状況になっていくものと思います。岩手県の高校でも「コミュニティ・スクール」という制度がこの数年のうちに実施されて参ります。同窓生の皆様、PTAの皆様、地域の皆様に、これまで以上に学校運営に関わっていただくことになると思います。

幸いなことに、本校では既に同窓生の皆様をはじめ、PTAや地域の皆様に様々な行事や学校運営面で大変ご協力をいただき、様々な面で大いに助けていただいております。また、少子化がかなり進んでいる一関地域ですが、本校を志望する中学生数が大変多くなっており、今年度の入試では県内においてもかなりの高倍率となりました。

一関二高のすばらしさをいろいろな機会を捉えてアピールし、地域の方々にこれまで以上にご理解いただきますよう、私たち教職員も一生懸命頑張っております。どうか今後とも、これまで以上に本校の教育活動にご理解ご協力ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和元年度総会

6月22日(土)新元号初となる令和元年度の総会が開催されました。本年度の総会は昨年同様母校である一関第二高等学校を会場に、雨が降りしきる中でしたが遠路各地よりお集まりいただき56名の参加で行われました。

総会のオープニングには恒例となった本校太鼓道場部と音楽部のステージ発表があり、この時期定期公演を間近に控えた生徒達からの熱気や、チケット販売・公演のアピールを通して先輩方と直接触れ合う貴重な時間となりました。

総会に先立ち本会員の物故者に黙祷が捧げられました。槻山同窓会長、中崎ゆかり校長のあいさつ後、議長選出においては事務局一任の声により、今年度当番幹事の小野寺和幸さん(昭和57年卒)ならびに柳橋信行さん(平成4年卒)のお二人が選出され議事進行役に、議事録署名人には神崎典子さん(昭和57年卒)ならびに村上智紀さん(平成4年卒)に委嘱され議事が執り行われました。本年度は同窓会会則に役員の旅費支出規定を追加する議案や同窓会名簿更新について事務局より提示され、それについて様々な

意見交換があり活発な議事進行となりましたが、概ね事務局提案の通り承認されました。その中で盛岡支部事務局長阿部さんより『旅費支給規定について、役員の参加状況を考え私用車での移動について考慮の必要性、また、近年の公共交通機関の乱れに対応し宿泊基準を設けてはどうか?』との声や、盛岡支部長佐々木さんより『同窓会名簿更新について、同窓会への応援の気持ちをもっと明確な形で反映されるよう事務局としての努力を望む!』との意見があり、同窓会活動に対して積極的な発言をいただきました。事務局として頂戴したお声を真摯に受け止め今後もさらに精進する気持ちでおりますので今後ともご意見等お寄せいただければ幸いです。

今年度は同窓会名簿更新発行が9月中に予定されております。同窓会員の皆様方には住所確認等にご協力いただき大変ありがとうございました。今後5年ごとの更新を予定しておりますので住所変更などの情報がございましたら事務局までお寄せください。よろしくお願いいたします。



音楽部のアトラクション



太鼓道場部のアトラクション

懇親会の様子



全参加者の集合写真



司会御苦労様でした



幹事長あいさつ



恩師をかこみ



クラス紹介



校歌斉唱!



次年度当番幹事



平成4年卒の皆様



新入会員も参加しました

笑顔満開な懇親会を終えて

同窓会幹事長 昭和57年卒 菅 原 隆

同窓会総会が活発なやりとりの後に終了し、ホテルサンルート一関に場所をかえて昭和57年卒岩渕氏と平成4年卒北嶺さんの司会進行で始まった同窓会懇親会。幹事長として挨拶の壇上に立つと、同級生の当時と変らない笑顔や年代を経た風貌の仲間の姿に、今日を迎えた喜びを感じました。ここ10年は事務局として同窓会の主に当番幹事会の引き継ぎから当日の総会懇親会等の業務を手伝いながら参加して

まいりました。今年度当番幹事として、集まりを持つと「LINEのグループ」を作り、顔合わせの軽い飲み会なども行われ、仲の良い同級生だとかつづく感じました。新入会員の紹介や次年度の当番幹事の紹介、クラスごとに壇上での近況報告と写真撮影も進み、楽しい時間も終わりに近づきました。

昭和57年卒の仲間と平成4年卒の皆様や新入会員のフレッシュな二人を加え、参加者全員で最後に撮影した集合写真は圧巻の人数でした。最後のエールは新妻くん、素晴らしいエールを本当にありがとう。校歌を全員で歌い終焉を迎えました。

同級会昭和57年組

昭和57年3月卒 佐々木 きくえ

総会終了後、ホテルサンルート一関で開催された懇親会では恩師の五日市先生をはじめ、同級生48名、総勢49名の参加で、一番の遠方はなんと!!ドイツ在中の由紀さん、東京からは永島くん、佳代子さん、正喜くん、利恵子さん、二次会から参加の雅仁くん、遠路はるばるありがとうございました。また一関近郊からも多数参加していただき、皆さんの同級生愛に感激です。

「ひさしぶり～」「元気だった?」「変わらないね～」と再会の喜びで大興奮!! 懐かしい思い出話に盛り上がり、一瞬の内に高校時代に戻りました。そして、近況報告、クラス写真撮影など、楽しい時間もあっという間に過ぎ、最後は全員での記念撮影。みんな最高の笑顔!!この写真を見ながら、また会える日を

楽しみにして頑張っていきましょうね。

2次会は同じ場所で、ハイテンションのまま突入し、更なる盛り上がり、仕事も家庭も忘れた最高のひとときでした。

お忙しい中、多数の方に出席していただき本当にありがとうございました。また、都合で参加出来なかった方々も、次回(還暦?)に、会える日を楽しみにしています。

最後になりましたが、今回の総会・懇親会に準備段階より協力してくださいました皆様に感謝申し上げます。また一関第二高等学校の更なる発展に期待申し上げます。

※2次会の参加費の残金13,400円を母校応援金として、同窓会事務局へ寄付しました。



57年卒全員集合



二次会はカラオケも



この人おぼえる?



笑顔満開57年組



同級会平成4年組

平成4年3月卒 熊谷 貴之

同窓会幹事が平成4年3月卒業の当番になっていることを私が知ったのは今年の5月になってからでした。職場の先輩に「順番に回っている」ということを聞いてはいましたが、打ち合わせ会議に出席できたのは最後の回でした。(事務局の皆さん大変ご迷惑をおかけしました。昭和57年卒業の皆さんすみませんでした。たった一人で何度も会議に参加していただいた里恵さんすみませんでした。…っていか知らなかったの。早く教えてもらえればお手伝いしたんですよ…。という言い訳はさておき)

懇親会の参加者はなんとか10名。昭和57年卒業の先輩方の人数には圧倒されましたが、卒業以来ほとんど顔を合わすことのない同級生の皆さんとお会いでき、楽しいひと時を過ごしました。

総会の議長を務めていただいた信行さん、懇親会

の司会の百合子さんには突然の依頼にも関わらず快く引き受けていただきました。ありがとうございました。急なお誘いにも二つ返事で参加していただいた真希さん亜紀さんありがとう。(やっぱり飲みたかったんでしょ) 三年間「女クラ」だった優子さん徳子さんトークは絶妙でした。三年間「混クラ」だった男性陣はというと、これから子育て頑張ります智紀さん。高校の時の方が面白かったよ、まじめになった清さん、元カノ来ないのはしょうがないじゃん淳也さん。それと…ドタキャンの忍さん。

次回、当番幹事が回って来た時は事前の準備をしっかりできるよう頑張りましょう。そして参加する同級生を増やしましょう。再会を期待しています。結びに事務局の皆さんのご労苦に感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



次の当番幹事に向けてがんばります



カンパイ!



平成30年度関東支部総会・懇親会開催

関東支部 事務局次長 曾 部 篤 治

(昭和44年3月普通卒)

平成30年(2018年)度関東支部総会・懇親会を9月30日(日)東京:中野サンプラザにて開催の準備を行っていましたが、大型で非常に強い台風24号が関東に接近の為、二日前に急遽「中止」と決定し、役員の皆様にご協力頂き、出席予定者70名に連絡を取った次第です。

当日、連絡が取れずに会場にお越しの会員4名と残務処理等で集まって頂いた支部役員の皆様とで「ミニ同窓会」を開催しました。中止決定につきましては台風による人災を避ける事を優先に致しました。ご理解をお願いします。

次回(2019年)開催:9月29日(日)中野サンプラザ 12時30分開始予定でご案内します。

「一関二高同窓会関東支部」は団体として、「岩手県人連合会」に加盟しており、岩手県全体の支援活動に協力致しております。また、一関市地域出身の各団体とも交流、関東支部会員のそれぞれの出身「ふるさと会」に入会してからは、関東から地元を盛り上げる活動を繰り返しております。

関東にお住まいで、この同窓会報が届かない会員がおられましたら、関東支部事務局長までご紹介ご連絡をお願いします。



今年度の総会のご案内

関東支部 総会・懇親会

◎日時:令和元年9月29日(日)

12:30～(受付11:30～)

◎会場:中野サンプラザ 11階 アネモルーム
東京都中野区中野4-1-1

◎会費:8,000円(当日会場にて承ります)

※平成30・31年3月卒の方は会費無料です。

※平成27～29年3月卒の方は会費半額負担です。

◎申込締切:令和元年9月14日(土)

◎お問い合わせ・その他

関東支部事務局次長 曾 部 篤 治 (S44普卒)

TEL/FAX 04-2923-5496

岩手県人連合会「2019 県人の集い」(東京)開催に参加!

2019年(令和元年)6月2日(日)東京ホテルラングウッドにて開催の岩手県人連合会主催の「県人の集い」に「一関二高同窓会関東支部」が所属団体として参加しました。関東圏に住む「岩手県出身者の集い」を毎年6月に開催し、今年で45回目。岩手県の達増知事をはじめ県内の各市町村長・議会議員等多数の来賓が出席し総勢350名。

我が同窓会関東支部からは写真の通りのメンバーが出席、一関市より佐藤善仁副市長・槻山隆市議会議員(同窓会長)そして平泉町の齋藤清壽副町長も出席賜り交流を深めました。司会には一関在住の“竹本恵子”さん(昭50年3月普通卒)をお願いし、会は大いに盛り上がりました。



平成30年度仙台支部総会・懇親会開催

支部事務局長 猪股 恭 四

(昭和48年3月普通卒)



平成30年10月20日(土)に仙台駅前のTKPガーデンシティにおいて、総会・懇親会が開催されました。

昨年に続き土曜日の日中の開催となり、会場も展望台付の高層ビルで市内の景観も楽しんでいただきました。

同窓会本部から小野寺副会長、鈴木理事のご出席をいただき、学校から中崎校長先生、山本先生、吉田先生のご出席をいただき、総勢26名での会となりました。

伊藤支部長の開会の挨拶に続き、小野寺副会長からは6月に開催された平成30年度総会の報告と副会長就任のご挨拶をいただきました。

中崎校長先生からは、学校を取り巻く環境が大きく変化していく状況にあり、高校再編計画による学級の削減、先生の削減等が進められていくとのお話がありました。改めて少子化の現実を考えさせられました。また、フェンシング部を始めとした各部の活動状況と素晴らしい成績の話や、手作りジャムの製品化等のおいしい話もいただき、後輩たちの活躍を頼もしく感じながら聞き入りました。

司会者の突然の振りにもかかわらず、山本先生には清水農場での授業模様、奮闘模様をお話いただきました。

いよいよ懇親会が、昭和36年・土木科卒業の阿部敏喜さまの乾杯の音頭で始まり、飲み、語らいの時間となりました。今年も、傘寿、喜寿等の歳祝いの3人の方々に登壇いただき、近況や、今も様々な分野に挑戦されているお話をいただき、年齢に関係ない歳の重ね方について参考になるお話をしていただ

きました。アトラクションとして、テーブル対抗でジェスチャーゲームを行い、少々体を動かしていただき、大いに盛り上がりました。

大いに語らい、盛り上がった楽しい時間もたちまちすぎてしまい、昭和39年・土木科卒業の佐々木義勝さまの由緒正しい“手振り”による恒例の校歌斉唱の時間となりました。毎回のこととはいえ、佐々木さまの変わらぬ声と体の切れには脱帽です。

中締めとして、48年卒業の遊佐貞雄さまに万歳三唱の音頭を取っていただき、懇親会のお開きとなりました。国分町に流れるにはちょっと早い時間でした。

開催の案内は200余名に発送いたしました但返信には多くの方から近況のコメントをいただき、事務局の励みになっています。来年は多くの同窓生の参加を願っております。

今年度の総会のご案内

仙台支部 総会・懇親会

◎日時：令和元年10月19日(土)
13:00～(受付12:30～)
※12:50より集合写真撮影

◎会場：TKPガーデンシティ仙台 (AER30階)
仙台市青葉区中央1-3-1
TEL 022-200-2611

◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)
※平成30・31年3月卒の方は会費無料です。
※平成27～28年3月卒の方は会費半額負担です。

◎申込締切：令和元年10月10日(木)

◎お問い合わせ・その他

仙 台 支 部 長 伊 藤 善 雄 (S42普通卒)
TEL 022-358-7628
仙台支部事務局長 猪 股 恭 四 (S48普通卒)
TEL 022-379-6414

平成30年度盛岡支部総会・懇親会開催

前盛岡支部長 大 野 秀

(昭和34年3月土木卒)



10月13日(土)天候不順のこの秋、もったいない程の晴天の日に、支部総会・懇親会が行われました。当支部は、花巻以北の地域に居住する人を対象にしています。600名を超える人たちが居り、ほぼ全員に通知を出し、安否を問いかけています。200名程から返事をいただいておりますが、参加者は30名ほどと、少ないとは思いますが、いつも参加している人、初めての人、いずれも、二高への思いが深い人々が顔を合わせました。

盛岡支部は『二高生の出場する行事を応援する』と方針を決めていますが、何と、阿部事務局長は、盛岡周辺で行われるスポーツ、文化行事にはことごとく出かけ、結果を見届けています。特に野球では、『がんばれ二高健児、二高同窓会盛岡支部』という横断幕をフェンスに掲げて応援しています。ぜひみなさん、かけつけて、等と報告されました。

また、中崎校長からは、学校の様子と生徒の活躍ぶりの紹介がありました。特にフェンシングの活躍がめざましい、などと聞いて、一同はあらためて、同窓生としての誇りを感じたところです。

総会では、支部長が6年も若がえり改選され、今後の活性化が期待されることとなりました。私事ですが、生徒の時に、生徒会長をやりまして、この度同窓会支部長をやらせてもらい、無事バトンタッチをできましたので役割を果たしたかな、とほっとしています。

続いて行われた懇親会では、アトラクションとして、参加者の中の二高音楽部出身者によるすばらしい歌唱が披露されました。その中の吉田ヨシ子さん(昭和35年卒)は、老人施設等で慰問で歌っているとのこと。一関からかけつけた鈴木公子さん(昭和35年卒)も、りんとした民謡舞踊をしてもらいました。

恒例の参加者の近況報告では、50年前の話も飛び出し、なつかしくも、また驚きもありました。

平成25年卒の佐藤佑樹君が参加して、平成23年卒の長洞先生と一緒に元気なエールを先導してくれ、来年への希望を持たせてくれました。

最後は、二高校歌の合唱でにぎやかにしめくくり、来年の再開を誓い合って、終了となりました。

今年度の総会のご案内

盛岡支部 総会・懇親会

◎日時：令和元年9月28日(土)
12:00～(受付11:30～)

◎会場：ホテルニューカリーナ
岩手県盛岡市菜園2-3-7
TEL 019-625-2226

◎会費：5,000円(当日会場にて承ります)
※平成30・31年3月卒の方は会費無料です。
※平成27～29年3月卒の方は会費半額負担です。

◎申込締切：令和元年9月14日(土)

◎お問い合わせ・その他

盛岡支部事務局長 阿部 俊雄 (S42普卒)
TEL 019-635-1592

卒業生の進路 (合格者数)

平成31年3月31日現在

平成31年3月 卒業生進路別合格者(延べ人数)

進 学	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	15	95	7
就 職	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校
	19	52	36
就 職	一般企業	公務員	
	35	25	

《進学》

〔国公立大学〕

北見工業大学(1)、釧路公立大学(1)、青森県立保健大学(1)、青森公立大学(3)、岩手大学(3)、岩手県立大学(3)、宮城大学(2)、山形大学(1)

〔私立大学〕

青森中央学院大学(2)、岩手医科大学(5)、岩手保健医療大学(1)、盛岡大学(7)、東北文化学園大学(5)、宮城学院女子大学(7)、尚絨学院大学(8)、人間総合科学大学(1)、石巻専修大学(1)、仙台大学(2)、仙台北百合女子大学(1)、東北医科薬科大学(1)、東北学院大学(2)、東北工業大学(6)、東北生活文化学園大学(1)、東北福祉大学(5)、日本赤十字秋田看護大学(1)、東北芸術工科大学(2)、医療創成大学(1)、郡山女子大学(1)、日本大学(1)、江戸川大学(1)、桜美林大学(2)、淑徳大学(1)、神田外語大学(1)、専修大学(1)、文化学園大学(1)、文教大学(1)、千葉科学大学(1)、東海大学(1)、健康科学大学(1)、日本文理大学(1)、京都ノートルダム女子大学(1)、デラ・サール大学(フィリピン)(1)

〔国公立短期大学〕

岩手県立大学宮古短期大学部(1)、岩手県立大学盛岡短期大学部(1)、山形県立米沢女子短期大学(3)、会津大学短期大学部(1)、静岡県立短期大学(1)

〔私立短期大学〕

修紅短期大学(2)、盛岡大学短期大学部(3)、宮城誠真短期大学(1)、聖和学園短期大学(3)、仙台青葉学院短期大学(7)、秋田栄養短期大学(1)、日本大学短期大学部(1)、女子美術短期大学(1)

〔看護・医療系専門学校〕

花巻高等看護専門学校(9)、岩手リハビリテーション学院(5)、岩手医科大学医療専門学校(1)、岩手県立一関高等看護学院(1)、岩手県立宮古高等看護専門学校(1)、国際医療福祉専門学校一関校(5)、水沢学苑看護専門学校(6)、盛岡看護医療大学校(1)、葵会仙台看護専門学校(1)、気仙沼市立病院附属看護専

門学校(5)、宮城高等歯科衛生士学院(1)、仙台リハビリテーション専門学校(1)、仙台医療センター附属看護助産学校(1)、東北保健医療専門学校(1)、山形病院附属看護専門学校(1)、横浜市医師会聖灯看護専門学校(1)、聖マリアンナ医科大学看護専門学校(1)

〔専門学校〕

上野法律ビジネス専門学校(3)、盛岡公務員法律専門学校(2)、大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校(2)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(1)、宮城文化服装専門学校(1)、国立音楽院(2)、仙台ECO動物海洋専門学校(1)、仙台ウェディング&ブライダル専門学校(1)、仙台こども専門学校(1)、仙台ビューティーアート専門学校(2)、仙台医療秘書福祉専門学校(1)、仙台総合ビジネス公務員専門学校(1)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(2)、東京IT会計専門学校(1)、東京ウェディング&ブライダル専門学校(1)、東京法律専門学校仙台校(3)、東北外語観光専門学校(1)、東北電子専門学校(1)、東北文化学園専門学校(1)、北里大学保健衛生専門学院(1)、神田外語学院(1)、東京CPA会計学院(1)、東京ウェディング&ブライダル専門学校(1)、日本芸術専門学校(1)、武蔵野調理専門学校(1)、職業能力開発総合大学校(1)、北上コンピュータアカデミー(1)

《就職》

〔一般企業〕

(株)日ピス岩手(1)、s w s 東日本株式会社(1)、株式会社ニチイ学館(1)、岩手平泉農業協同組合(1)、社会福祉法人 つくし会 関生園(1)、社会福祉法人 寿憩会(4)、社会福祉法人 川崎寿松会(1)、社会福祉法人 幸得会 黄金荘(1)、(株)日本郵便東北支社(1)、株式会社岩手銀行(2)、社会福祉法人 岩手福寿会(1)、東芝メモリ岩手株式会社(1)、医療法人社団湖聖会 はなも(2)、有限会社奥州秋保温泉蘭亭(1)、(株)日本郵便東京支社(1)、ANA FESTA 株式会社羽田空港店(2)、株式会社ヨークマート(1)、京浜急行電鉄株式会社(1)、社会福祉法人 協和会(2)、社会福祉法人 竹清会(1)、東京急行電鉄株式会社(1)、東日本旅客鉄道株式会社(1)、敷島製パン株式会社(5)、トヨタ自動車株式会社(1)

〔公務員〕

青森県警察官B警察(1)、岩手県職員(1)、岩手県警察官B警察(3)、一関市職員(2)、一関市消防 消防官(1)、仙台市職員高卒程度事務(1)、刑務官(1)、自衛隊自衛官候補生(7)、自衛隊一般曹候補生(6)、航空自衛隊航空学生(1)、海上自衛隊航空学生(1)

同窓会入会式

平成31年3月1日、大講義室において卒業生のクラス幹事が紹介されました。卒業生を代表して、3組の芳賀瑞紀さんと6組の阿部咲良さんが学年理事となりました。皆さんの同窓会への入会を心から歓迎するとともに、これからのご活躍を祈念いたします。なお、卒業年度と翌年まで各支部での同窓会の参加費は無料となりますので、積極的な参加をお待ちしています。



平成31年3月卒同窓会クラス委員並びに学年理事

1 組	佐々木 優 人	菅 原 夏 美
2 組	鈴 木 美 紅	千 田 雄 斗
3 組	葛 巻 遥 奈	※ 芳 賀 瑞 紀
4 組	加 藤 優 輝	佐々木 梨 那
5 組	佐々木 拓 夢	鈴 木 蓮
6 組	※ 阿 部 咲 良	高 橋 杏 奈

※学年理事

卒 業 生 数

卒 業 年 次 (3 月)	県立一関高等学校西校舎										合 計
	郡立西磐井実科高等学校 (明治41～明治44)	郡立西磐井実科高等学校 (明治45～大正8)	県立一関実科高等学校 (大正9～大正11)	県立一関高等学校 (大正12～昭和24)	町立一関商業補習学校 (大正15～昭和2)	町立一関商業専修学校 (昭和3～昭和10)	町立一関女子職業学校 (昭和11～昭和20)	町立一関女子職業学校専攻科 (昭和12～昭和19)	町立一関女子商業学校 (昭和21～昭和22)	市立一関淑徳高等学校 (昭和23～昭和24)	
	94	110	45	745	203	458	105				
		255	2,666	249	233	83	50				
			3,125			2,171					
昭和24	県立一関第二高等学校・旧制農工学校 26 24										
25								66	21	19	106
26								255	39	33	327
				5,346						433	
										5,779	

卒業生数 29,846

卒業年次(3月)	県立一関第二高等学校						県立一関農業高等学校					
	普通科	福祉教養科	総合学科	土木科	農業科	生活科	農業科	生活科	園芸科	生活科学科	農芸科学科	合計
昭和27	98			39	49	186						
28	210			43		253						
29	250			43		293						
30	211			45	42	298						
31	259			41	43	343						
32	231			46	35	312						
33	259			44	39	342						
34	272			44	40	356						
35	262			43	38	343						
36	256			44	41	341						
37	262			44	41	347						
38	255			43	40	338						
39	232			39	36	307						
40	291			45	47	383						
41	310			42	44	396						
42	267			41	45	397						
43	314			40	40	479						
昭和44	315			38		353	45	84				129
45	311			41		352	43	80				123
46	306			42		348	46	84	40			170
47	290			39		329	42	80	38			160
48	267			39		306	39	80	29			148
49	272			36		308	39	81	38			158
50	276			39		315	37	82	36			155
51	274			41		315	39	80	39			158
52	266			40		306	36	86	39			161
53	267			42		309	39	79	39			157
54	269					269	37	83	37			157
55	268					268	38	77	39			154
56	264					264	41	84	42			167
57	271					271	31	78	38			147
58	273					273	40	79	39			158
59	230					230	28	40	32			100
60	229					229	37	40	29			106
61	272					272	42	60	31			133
62	271					271	38	38	34			110
63	265					265	31	35	32			98
平成1	278					278	32	34	29			95
2	268					268	30		37	38		105
3	271					271	42			43	42	127
4	276					276	41			39	40	120
5	229	45				274	33			41	42	116
6	225	45				270	37			40	37	114
7	231	45				276	40			41	40	121
8	229	42				271	31			37	35	103
9	228	40				268	33			41	41	115
10	253	39				292	32			38	37	107
11	200	40				240	36			39	34	109
12	203	39				242	38			40	39	117
13	210	39				249	36			36	40	112
14	205	42				247	38			39	36	113
15	203	41				244	37			38	40	115
16	197	40				237	34			36	31	101
						15,770				4,639		
						(新) 県立一関第二高等学校						
17	196	37								36	38	307
18	161	40								39	39	279
19			240									240
20			243									243
21			235									235
22			233									233
23			230									230
24			236									236
25			236									236
26			237									237
27			241									241
28			234									234
29			237									237
30			239									239
31			231									231
令和2			212									
3			200									
4			201									
												24,067

令和元年度 一関二高同窓会年間行事計画

令和元年

4月6日(土)	入 学 式
11日(木)	同窓会会計監査(本校)
17日(木)	同窓会総会・懇親会第3回当番幹事 打ち合わせ会(一関市民センター)14名
22日(月)	同窓会第1回常任理事会(本校)19名
5月15日(木)	開校記念日
28日(火)	同窓会理事会(本校)17名
29日(水)	同窓会総会・懇親会第4回当番幹事 打ち合わせ会(一関市民センター)14名
6月12日(水)	同窓会総会・懇親会第5回当番幹事 打ち合わせ会(一関市民センター)17名
6月22日(土)	同窓会総会(本校)・懇親会 (ホテルサンルート一関) 当番幹事 昭和57年・平成4年3月卒
8月上旬	同窓会報No.16発行
30日(金)～ 31日(土)	二高祭
9月中旬	同窓会名簿発行
9月28日(土)	同窓会盛岡支部総会・懇親会 (ホテルニューカリーナ)
29日(日)	同窓会関東支部総会・懇親会 (中野サンプラザ)
10月19日(土)	同窓会仙台支部総会・懇親会 (TKPガーデンシティー)
11月上旬	同窓会総会・懇親会当番幹事引継ぎ会 (未定) 令和元年度当番幹事 (昭和57年・平成4年3月卒) 令和2年度当番幹事 (昭和58年・平成5年3月卒)
11月下旬	令和2年度同窓会総会・懇親会第1回 当番幹事打ち合わせ会(未定)

令和2年

2月上旬	同窓会第2回常任理事会(本校)
3月1日(日)	同窓会表彰・入会式
2日(月)	卒 業 式
6月20日(土)	同窓会総会・懇親会(予定)

《寄付受付口座番号》

ゆうちょ銀行 口座番号 02220-8-56591
口 座 名 一 関 二 高 同 窓 会

※振り込みの際は、振込者名と卒業年度をご記入ください。

令和2年度 総会・懇親会のご案内

日 時 令和2年6月20日(土) 午後2時～
(予定)

会 場 サンルート一関(予定)

当番幹事 昭和58年3月卒 平成5年3月卒

会 費 5,000円(予定)

※平成31年・令和2年3月卒の方は会費無料です。

※平成28～30年3月卒の方は会費半額です。

編集後記

今年も日本各地から「観測史上初めて」と言う様な自然の猛威による災害が伝えられております。人類のあまりの過活動に地球が身震いしているのでしょうか。

さて、会報の編集にあたり、一番苦悩するのが表紙のページであることは以前のこの欄でも記述しましたが、今回の編集委員会でも最後まで決まらなかったのが会報のトップを飾る表紙の内容。編集委員の狭い人脈であれこれ手探りしても、時間だけが無常に流れるだけ。これだったら支部の力を借りて各方面で活躍する同窓生を紹介してもらう手しかない、編集委員会の場から、今回は会員数が多い関東支部の曾部事務局長へ突然に連絡を入れた次第でした。「干天の慈雨」とはこのことで、かくして今号の表紙が出来上がりました。これに気を良くし、次回も支部の力をお借りすると言うことで編集委員会がまとまりました。

「豪雨」ではなく、各支部の皆さんの「慈雨」をよろしく願いいたします。(公)

編集委員

編集委員長 佐 藤 公 基
副編集委員長 須 藤 光 子
編 集 委 員 菅 原 隆
〃 梶 山 隆 幸
〃 佐々木 利恵子
〃 吉 田 一 博